

第1回 松永駅周辺活性化協議会 次第

日時:2024年(令和6年)8月8日(木)19:00～

場所:福山市西部市民センター5階多目的室

1 開会

2 挨拶

3 出席者紹介

4 事務局説明

○背景と目的

○松永駅周辺の概要

○今後の進め方

5 意見交換

6 閉会

(松永駅周辺のにぎわい創出)

松永駅周辺活性化協議会 委員名簿

敬称略

名 前	所 属 等
たまい ゆき 玉井 由樹	福山市立大学 都市経営学部教授
まつもと りょうま 松本 陵磨	福山大学 大学教育センター講師
よこやま のりよし 横山 典好	松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会代表／はきもの資料館館長
おかだ のりこ 岡田 典子	今津自治会連合会 駅前自治会会長
しまだ きよひで 島田 清豪	福山松永ライオンズクラブ／株式会社扶桑理化役員
おがわ かずよし 小川 一佳	松永ロータリークラブ／小川文祥堂代表
おき ひろと 沖 裕人	福山商工会議所松永地区議員懇話会会長／株式会社オキ代表
ともだ あきら 友田 聡	福山商工会議所松永地区議員懇話会／株式会社ニチエー代表
お べ やすと 遠部 康人	広島県はきもの協同組合理事長／株式会社オベ代表／中央交通有限会社代表
さかた ひでゆき 坂田 英幸	広島銀行松永支店長
事務局	福山市市民局松永支所(松永地域振興課) 福山商工会議所松永支所
オブザーバー	福山西警察署長 <small>なかもと さとし</small> 中本 悟志
オブザーバー	JR西日本(尾道駅)副駅長 <small>うねおか おさむ</small> 畝岡 治
オブザーバー	広島県立松永高等学校 校長 <small>みやもと まさあき</small> 宮本 昌明
アドバイザー	清水 義次(福山駅前デザイン会議座長)

○背景と目的

近年、松永湾沿いに商業施設などが集中し、駅の南北を含めた松永駅周辺の空洞化が顕著となっています。

また、松永地域の特徴でもある、多くの大学生や外国人市民といった人財が活かされていない現状があります。

「まつながゲタリンピック」といった地域の代表的なイベントも終了する一方で、地域の活性化や課題解決に取り組む新たな住民組織が複数設立されるなど、住民のまちづくりへの機運が高まりつつあります。

こうした中、松永駅周辺のにぎわい創出に向けて、住民をはじめ、多様な主体がまちの未来の姿(ビジョン)を描き、官民が共有できるビジョンの策定に取り組むこととしています。

まちの未来の姿(ビジョン)を、多様な主体で議論する中で策定し、地域の特性を活かして、具体的な取組につなげることで、松永駅周辺のにぎわい創出をめざすものです。

○松永駅周辺の概要



北側：駅北側の空洞化、駅前府中線開通、多くの大学生

南側：駅南側広場整備、ゲタリンピック終焉、はきもの資料館・クリークの活用

●松永駅周辺活性化協議会

【構成】大学、地域・団体、企業、金融機関など
アドバイザー(福山駅前デザイン会議座長)

【事務局】福山市松永支所(松永地域振興課)
福山商工会議所松永支所

【役割】ビジョンの策定に向けた取りまとめ



連携

●松永未来会議

【構成】
・にぎわい創出の実現に向けたプレイヤーとなる人財
・女性、若者を含めた多様な主体

【役割】
・協議会への具体的な提案
・ワークショップ、実証実験等の開催

【今後の取組】

- ・第1回(仮称)松永駅周辺活性化協議会 8月8日開催
- ・第1回(仮称)松永未来会議 9月下旬設立(予定)
- ・ビジョン策定 2024年度末(予定)

⇒ ビジョン策定後は、シンポジウムやエリア価値創造フォーラムなど福山駅前の手法を参考に、ビジョンの共有、機運の醸成、人材の発掘・育成に努め、官民連携して、にぎわい再生に取り組む

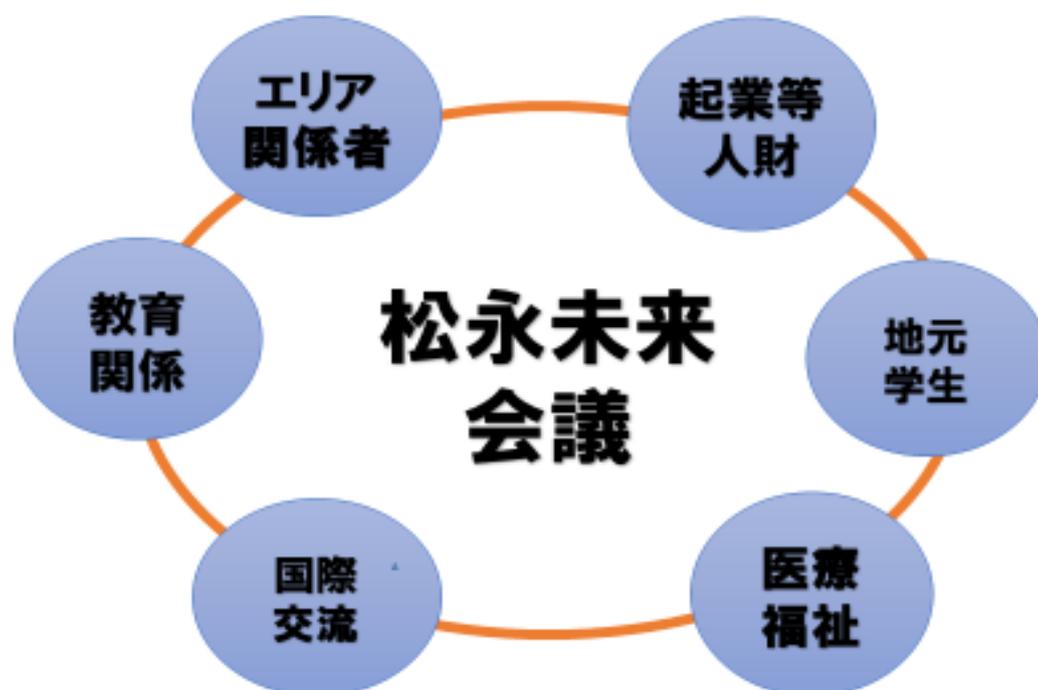
関連事業

- まちづくりシンポジウム 8月18日(日)10:00~12:00
西部市民センター多目的室
- ふくやまエリア価値創造フォーラム 8月23日(金)14:00~16:00
広島県民文化センターふくやま
- 10月末 まつながハロウィンナイト(予定)
※その他、イベント情報については随時情報発信

松永未来会議とは

☆構成

- ①エリア関係者（松永駅周辺の住民・事業者）
- ②医療・福祉（松永駅周辺を拠点とする事業者など）
- ③国際交流（国際化、多文化共生の担い手、外国人市民）
- ④地元学生（市内の大学・高校の学生、在住者）
- ⑤教育関係（教育・子育て支援の機関、小中学校PTA）
- ⑥新たな事業や起業に意欲のある人財



未来会議を中心とした話し合いとワークショップを織り交ぜながら
広がりのある実働部隊を創出！

松永駅周辺活性化協議会

- ・ 松永地域について 2
- ・ 松永の歴史 3
- ・ 松永地域の学区(町・地区)別人口推移 4
- ・ 年代別人口推移 5
- ・ 外国人市民の状況 5
- ・ JR松永駅周辺の状況 6
- ・ 松永駅乗降者数 7



駅前府中線 2024年開通



駅北側 アーケード



駅前広場 2024年完成



松永はきもの資料館



宮澤喜一記念館 2024年開館



駅南側 クリーク

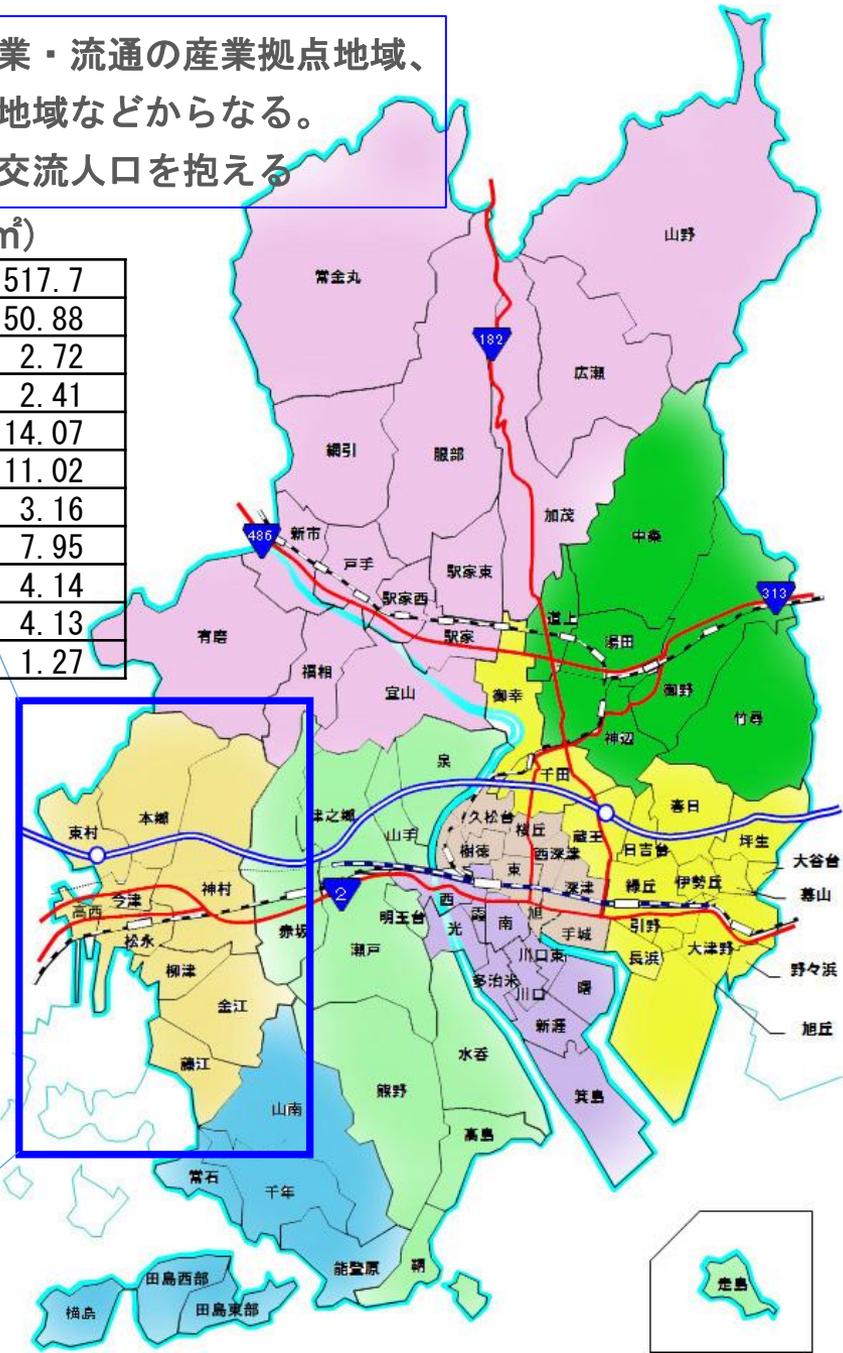
松永地域

- ▶ 本市西部の交通の要衝にあり、港湾地域を中心とした工業・流通の産業拠点地域、松永駅周辺を中心とした生活拠点地域、内陸部の農業集落地域などからなる。
- ▶ また、大学を中心とした学園地域の形成が進み、多くの交流人口を抱える



●面積 (Km²)

全市	517.7
松永地域	50.88
松永	2.72
今津	2.41
神村	14.07
本郷	11.02
柳津	3.16
金江	7.95
藤江	4.14
東村	4.13
高西	1.27



■松永の歴史

1660 万治 3	1667 寛文 7	1878 明治 11	1891 明治 24	1900 明治 33	1934 昭和 9	1954 昭和 29	1955 昭和 30	1960 昭和 35	1966 昭和 41	1975 昭和 50	1978 昭和 53	1989 平成 元	1990 平成 2	1994 平成 6	2008 平成 20	2010 平成 22	2015 平成 27	2020 令和 2	2023 令和 5	2024 令和 6
本庄重政が神村・柳津両村沖の干拓事業に着手	幕府の許可を得、「松永」と命名 塩田工事了	丸山茂助、加藤助次郎らが、下駄の製造を開始	山陽鉄道(現山陽本線)が開通、松永駅ができる	町制施行により、沼隈郡松永町となる	下駄仕上げの機械化や県内産の杉や松を使用する ことで生産量が増加	松永市が誕生 (松永町・東村・金江・藤江・柳津・神村・本郷村が合併)	(高西町川尻、真田) 尾道市の一部を編入	第三次塩業整備により、塩製造は廃止	福山市との合併により、福山市松永町となる	福山大学開学	福山市園芸センター完成(金江町)	松永健康スポーツセンター開館	松永道路全線開通	第1回ゲタリンピック開催 ※前年に第0回開催	西部市民センター開所	第1回フレンドリピックまつながカープチェー開催	松永はきもの資料館(あしあとスクエア)開館	遺芳丘小学校開校	ゲタリンピック終焉 ※2020〜2022は中止	松永駅周辺活性化協議会設立

「松永」の地名の由来
 神村の松崎の地先であったこと、「松寿永年(しょうじゅえいねん)」にちなんで、1667年幕府の許可を得、命名されたと伝えられています。



入川での下駄の原木運搬



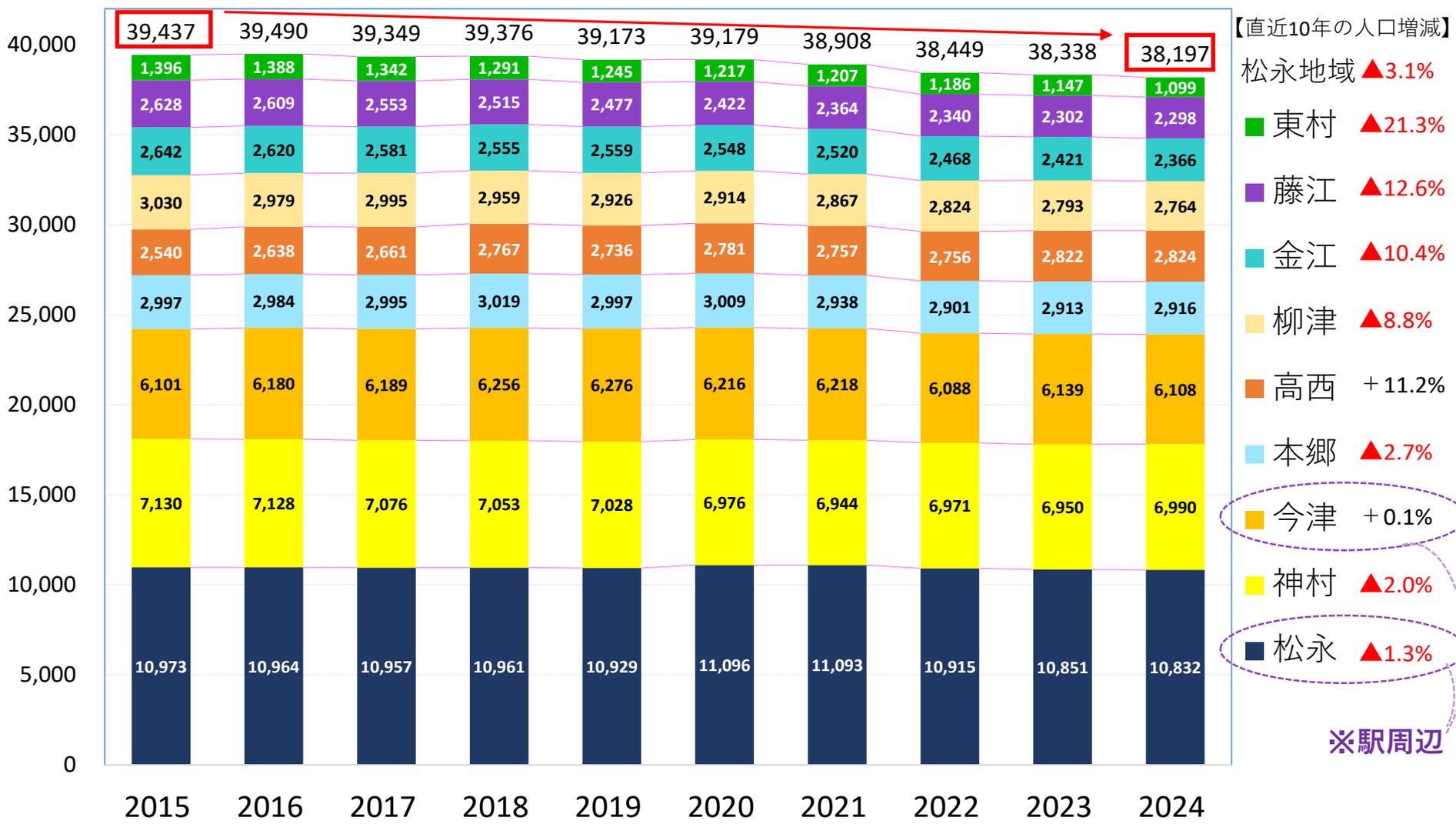
下駄の乾燥作業



塩田での海水撒き作業

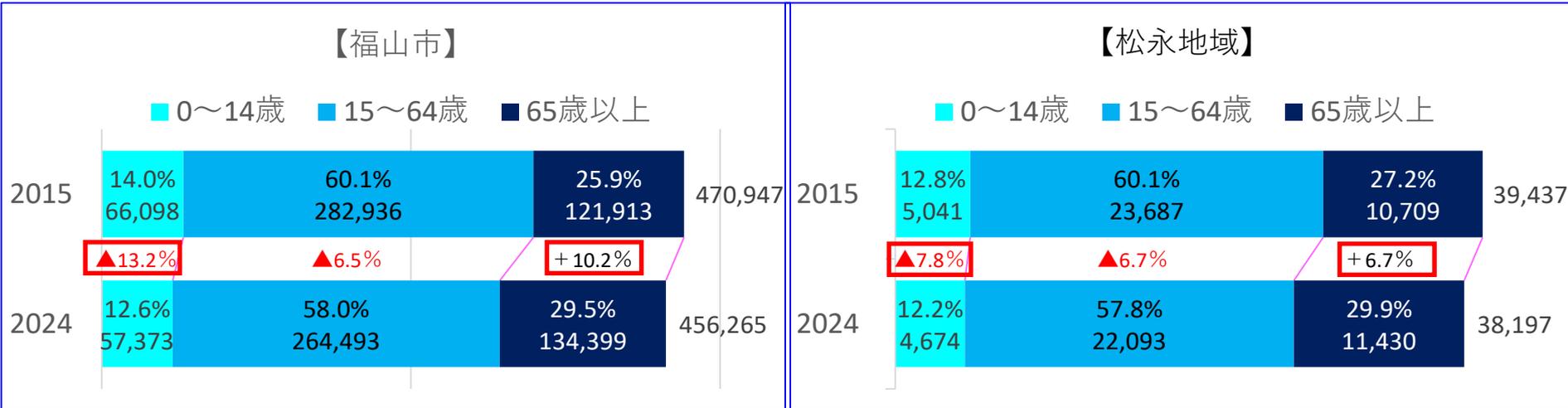
松永地域 学区(町・地区)別人口推移 2015~2024年(各3月末)

▶ 松永地域の人口は、直近10年間で **39,437人** ⇒ **38,197人** (▲3.1%)
 ※ 福山市全体 470,947人 ⇒ 456,265人 (▲3.1%)
 ▶ 高西、今津は増加している一方、東村、藤江、金江、柳津は大幅に減少している



■年代別人口推移 2015～2024年（各年3月末）

▶ 年代別の人口推移では、市全体と比較し『高齢者の増加幅』、『子どもの減少幅』は少ない



■外国人市民の状況（2024年3月末）

学区(地区・町)	人口	内外国人市民	外国人割合 (順位/市内79学区)
松 永	10,832	721	6.7%(4)
今 津	6,108	315	5.2%(5)
神 村	6,990	145	2.1%(32)
高 西	2,824	143	5.1%(6)
柳 津	2,764	85	3.1%(22)
本 郷	2,916	70	2.4%(30)
東 村	1,099	39	3.5%(15)
藤 江	2,298	37	1.6%(43)
金 江	2,366	2	0.1%(78)
松永地域	38,197 (全市の8.4%)	1,557 (全市の14.5%)	4.1%
全市	456,265	10,768	2.4%

▶ 全市の外国人割合が2.4%に対し、松永地域は4.1%と他地域より外国人市民が多く在住している。

J R 松永駅周辺の状況

駅周辺とは ... 徒歩7分程度 (清水アドバイザー)

【駅南側】

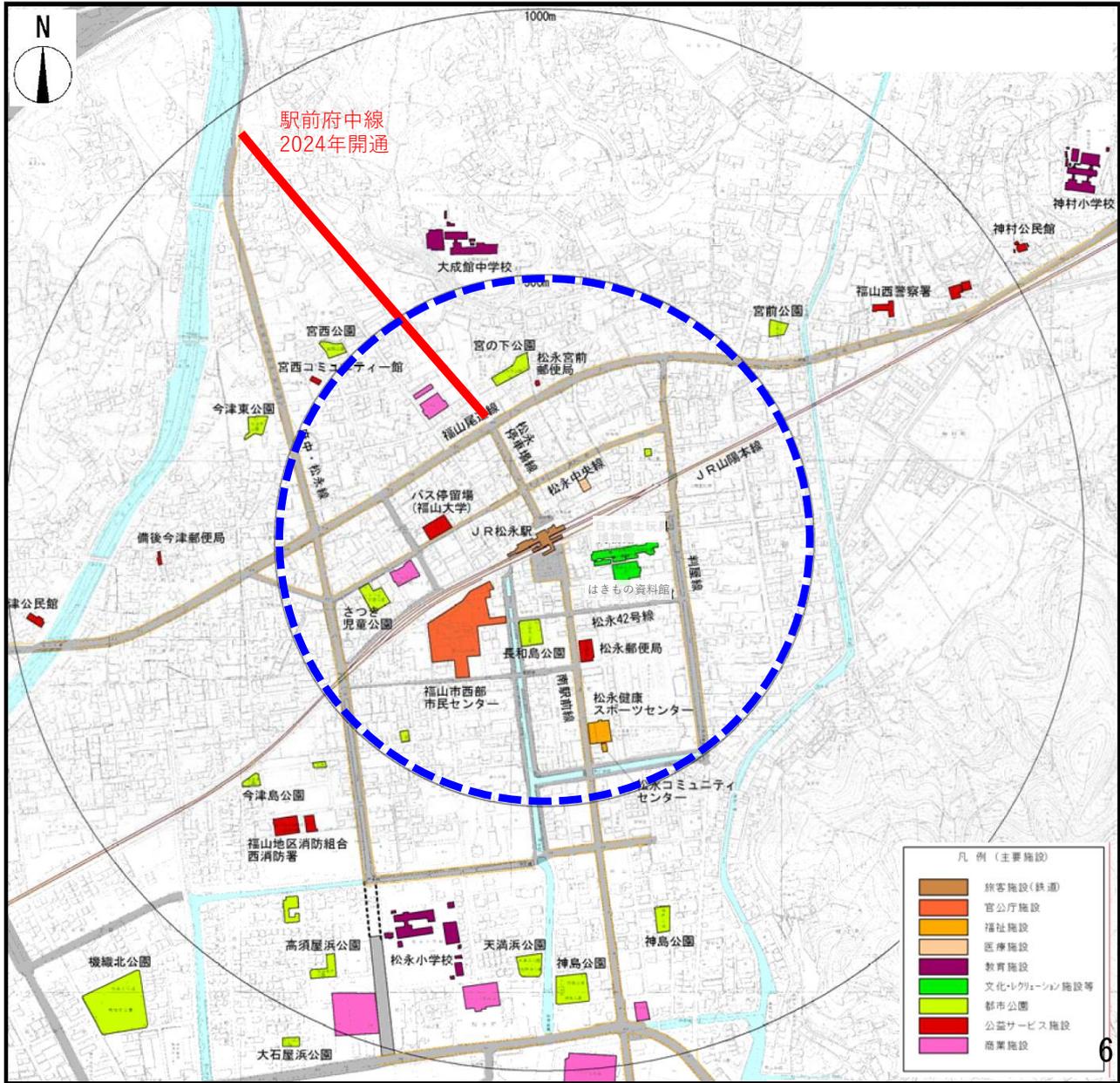
- ▶ 福山市西部市民センター、はきもの資料館、宮澤喜一記念館、松永健康スポーツセンター、松永コミュニティセンター等の公共施設、文化・レクリエーション・健康福祉施設が多く配置されている。
- ▶ 2024年 駅前広場完成
- ▶ クリークや多くの公園など緑と水がある空間が多い。

【駅北側】

- ▶ 多くの大学生が行き交う。
- ▶ 空き店舗が多く空洞化、アーケードの老朽化。
- ▶ 若手商店主などによる新たな活性化の動きが始まっている。

【駅周辺道路状況】

- ▶ 東西方向に福山尾道線、市道松永42号線等、南北方向に府中松永線、南駅前線等があり、J R松永駅を中心とした環状線が構築されている。
- ▶ 2024年 駅前府中線が開通



■松永駅乗降者数

- ▶ 市内では福山駅に続く乗降客数
- ▶ 尾道駅と2割も変わらない

駅利用者は決して少なくはなく
ポテンシャルは秘めている

■山陽本線

「国土数値情報（駅別乗降客数データ）」（国土交通省国土政策局）を加工

	三原駅	糸崎駅	尾道駅	東尾道駅	松永駅	備後赤坂	福山駅	東福山駅	大門駅	笠岡駅
年	乗降客数 (人/日)									
2013	12,694	1,461	11,282	3,700	9,252	3,610	39,988	8,159	5,144	7,499
2014	12,266	2,492	10,876	3,616	8,970	3,478	39,412	8,188	4,854	7,246
2015	12,702	1,540	11,386	3,838	9,096	3,638	41,044	8,528	4,980	7,236
2016	12,726	1,350	11,542	3,960	9,380	3,714	41,808	8,668	4,998	7,384
2017	12,707	1,344	11,463	4,023	9,574	3,745	42,379	8,730	5,037	7,266
2018	12,396	1,268	10,790	3,948	9,354	3,660	42,540	8,794	4,866	7,136
2019	12,406	1,352	11,174	4,162	9,602	3,690	42,374	8,822	4,780	6,752
2020	9,352	1,116	8,526	3,426	7,206	3,330	29,238	7,508	4,084	5,470
2021	9,116	1,040	8,110	3,320	6,990	3,152	29,762	7,212	3,952	5,308
2022	10,100	1,064	9,396	3,576	7,658	3,288	34,908	7,590	4,186	5,668

■福塩線

	備後本庄	横尾	神辺駅	湯田村	道上	万能倉	駅家	近田	戸手	上戸手	新市	高木	鵜飼	府中駅
年	乗降客数 (人/日)													
2013	768	1,894	2,698	1,536	1,344	1,398	1,449	413	586	971	962	520	622	1,817
2014	750	1,764	2,662	1,438	1,328	1,348	1,412	420	594	948	918	468	600	1,770
2015	780	1,830	2,710	1,490	1,322	1,444	1,490	410	604	1,060	960	484	644	1,848
2016	784	1,878	2,786	1,550	1,284	1,506	1,538	422	596	1,098	924	476	650	1,932
2017	828	1,880	2,853	1,643	1,317	1,503	1,523	427	641	1,067	924	507	678	1,918
2018	818	1,776	2,788	1,656	1,364	1,578	1,428	438	648	1,006	862	512	656	1,842
2019	870	1,802	2,836	1,684	1,416	1,588	1,452	454	612	1,002	866	528	662	1,836
2020	826	1,494	2,064	1,564	1,118	1,314	1,206	408	504	878	738	436	522	1,694
2021	742	1,538	2,068	1,458	1,088	1,242	1,206	378	494	828	694	466	488	1,544
2022	808	1,684	2,396	1,510	1,262	1,390	1,280	386	512	874	716	478	488	1,644

神辺町

5,168

駅家町

3,056

新市町

2,102

府中市

2,610

「福山市の都市計画に関する基本的な方針」

福山市都市マスタープラン



3. 地域別まちづくりの目標

本市の都市づくりの基本理念を達成するため、市域6つの地域がそれぞれの特性を生かしつつ、役割を分担し、全体として調和の

とれた発展を遂げるよう、各地域のまちづくりのテーマを次のとおり設定します。

《都市づくりの基本理念》

「拠点性と求心力を備えた活力ある都市づくり」

「安心・安全で快適に暮らせる都市づくり」



3 西部地域

地域の誘導方向

■位置づけと課題

○位置づけ：

本市西部の交通の要衝にあり、港湾地域を中心とした工業・流通の産業拠点地域、松永駅周辺を中心とした生活拠点地域、内陸部の農業集落地域などから成る地域

また、大学を中心とした学園地域の形成が進み、多くの交流人口を抱える地域

○主要課題

1. 港湾機能の強化、港湾背後地の計画的整備
2. 松永駅周辺地区の魅力創出、生活サービス機能の充実
3. 福山大学との連携による魅力ある学園地域づくり、地域産業の活性化
4. 住工混在地区、密集住宅地における生活環境の改善
5. 既存集落地の活力維持と生活環境の向上
6. 尾道市街地や北部地域との連携・交通軸の強化
7. 生活道路網整備による地区内移動の円滑化
8. 松永駅の交通結節機能の強化、交通バリアフリーの整備拡充
9. 広域的機能を持つ都市基幹公園の配置、公園不足地区への整備
10. 水と緑のネットワークの形成（松永クリークの有効活用）
11. 水害や高潮による浸水に対する安全性の向上
12. 下水道の処理区域の拡大
13. 住民との協働による地域防災・防犯力の一層の向上

■目標とテーマ

○テーマ：

「学園地域と港湾機能・交通拠点機能を生かした産業拠点が融合する、活力に満ちた地域づくり」

○目標：

重要港湾尾道糸崎港機織地区の整備などにより、港湾機能や広域交通機能を生かした産業拠点の形成を図ります。また、学園地域として、若者の定住を促進する住宅供給の促進や生活サービス機能の集積・充実を促進します。

伝統のある木工産業の産業観光を促進するとともに、松永クリークの活用などによって快適な居住環境の創出と交流人口の拡大を図ります。

まちづくりの方針

■土地利用の方針

- ① 交通機能の要衝地としての特性を生かしながら、工業・商業・住宅・農地のバランスのとれた市街地形成を図ります。
- ② 地域の商業・業務・サービス・住宅などの既存集積のある松永駅周辺地区については、地域拠点として生活サービス機能の充実を図り、複合的な土地利用を誘導します。
- ③ 松永地区は、港湾を生かした工業・流通業務機能の集積と充実を図り、産業拠点の形成を図ります。
- ④ 工場の集約配置や地区計画制度の活用などを促進し、住工混在地区における土地利用の純化や生活環境の保全を図ります。
- ⑤ 東村地区、本郷地区、金江地区、藤江地区などの農業振興地域については、開発許可制度の適切な運用により、都市的な土地利用の拡散を防止し、優良な農地の保全に努めます。併せて、地区計画制度などを活用し、既

存集落地での活力と生活環境の向上を図ります。

■施設整備の方針

<道路・交通>

- ① 松永道路、赤坂バイパスの4車線化や一般県道松永新市線の整備により、交通流動の円滑化を促し、物流基盤の強化や都市間交流の促進、拠点間の連携強化を図ります。
- ② 港湾地域と尾道市街地との連絡を強化するため、都市計画道路山波南松永線の整備を推進します。また、JR山陽本線により分断された南北地区を結ぶ都市計画道路松永港本郷線の整備や生活道路の充実によって、地域内における交通処理の円滑化を図ります。
- ③ 市街地にある狭あいな道路については、歩行者の安全確保や緊急車両等の円滑な通行に配慮し、計画的な道路の整備を進めます。
- ④ 生活バスについては、ゾーンバスシステムの導入を促進し、地域特性に応じたバス運行による利便性の向上を図ります。
- ⑤ 松永駅については、駅舎のバリアフリー化などを促進し、ターミナル機能の強化、利便性の向上を図ります。

<公園・緑地>

- ① 広域的機能を有する都市基幹公園の整備を進めるとともに、街区公園など身近に利用できる公園の整備に努めます。
- ② 既存の老朽化した公園については、施設の充実やバリアフリー化など、計画的な再整備を進めます。

<河川・海岸>

- ① 河川改修や水路の整備、流域の保水機能や遊水機能を高めるなど、総合的な水害防止対策を進めます。
- ② 羽原川の整備や海岸保全施設の改良などを進め、高潮などによる安全性の向上を図ります。

<供給処理施設>

- ① 安全で良質な水の安定給水のために、老朽化した水道管の更新を進めます。
- ② 公共下水道の計画的な整備を進め、処理区域の拡大を図ります。
- ③ 公共水域に放流される汚濁負荷量の削減に対応するため、下水処理区域の拡大に合わせて松永浄化センターの整備を進めます。
- ④ 市街地の浸水安全度を高めるため、機織ポンプ場の整備を進めます。

<その他>

- ① 重要港湾尾道糸崎港機織地区については、西日本有数の木材取扱港として、大型岸壁や臨港道路山波松永線など港湾機能の整備・拡充を図ります。
- ② 老朽化した市営住宅については、多様な居住者層に対応しつつ、計画的な整備を進めます。
- ③ 集落地については、集落道路整備や排水路整備など生活基盤施設の整備に努め、生活環境の向上を図ります。

■地域環境の保全・整備の方針

- ① 市街地周辺に残る良好な樹林地や優良な農地については、その保全に努めます。
- ② 港湾、クレークによって創出される水辺環境の保全を図るとともに、周辺水域の浄化を推進します。
- ③ 大気や水質などの環境監視、発生源となる工場や事業所などへの指導を的確に行うことにより、地域環境の保全を図ります。

■都市景観形成の方針

- ① 松永駅周辺地区については、観光資源である日本はきもの博物館及び日本郷土玩具博物館があることから、これらの施設を核として周辺環境と一体となる良好なまち並み景観の創出を図ります。
- ② 港湾地域における工業・流通・業務地区周辺については、道路緑化や公共用地緑化及び民間施設内緑化を推進し、市街地周辺の緑

や港湾・クリークなどの水辺と調和した景観形成を図ります。

③ 快適で美しく、潤いのある市街地景観を形成するため、市民との協働によるルールづくりを進めていきます。

■人にやさしい都市づくりの方針

① 誰もが安全で快適な生活を送ることのできる地域社会を実現するため、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、公共施設のバリアフリー化などを推進します。

② 特に、松永駅周辺などについては、交通施設や歩行者空間のバリアフリー化を促進します。

■安心・安全な都市づくりの方針

① 災害時の拠点施設や避難所となる公共施設の耐震改修を計画的に行います。また、避難や緊急輸送のために必要な道路・橋りょう・港湾施設についても、計画的な維持補修により、安全性を確保します。

② 上下水道などのライフラインの耐震化や消防水利等の災害応急対策施設の整備・耐震化を図ります。

③ 住宅・宅地の安全性を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業をはじめとする土砂災害や水害防止対策を進めます。

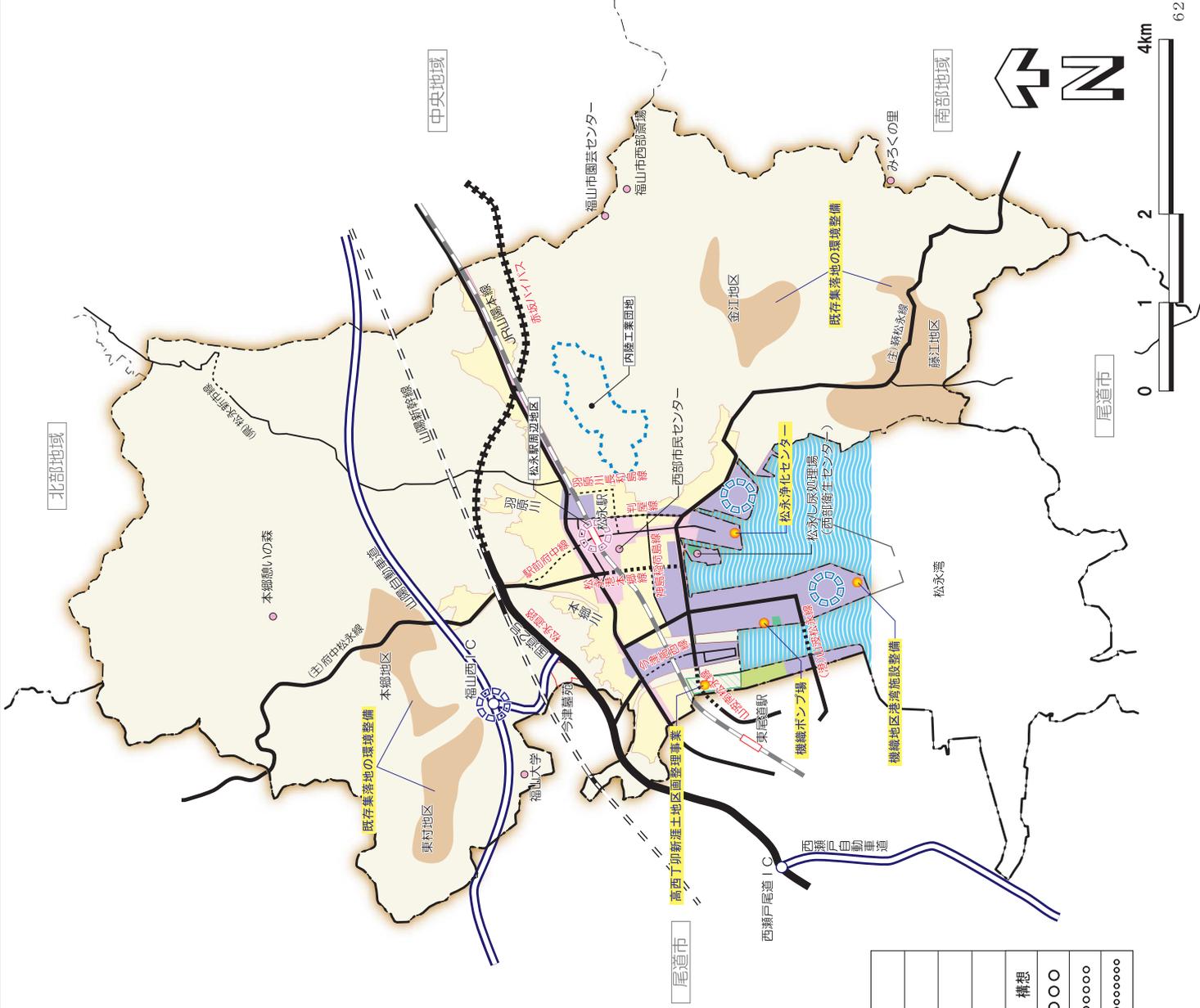
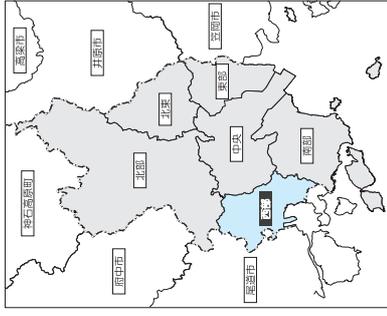
④ 建築物が密集し、火災の延焼する危険性の高い密集市街地については、防火・準防火地域の指定を検討するとともに、建築物の耐震化を促進するなど災害に強いまちづくりを進めます。

⑤ 地域の防災・防犯力の一層の向上に向けて、地域や関係団体と緊密な連携・協力体制を整えるとともに、防犯灯や見通しのよい公園整備など、犯罪が起こりにくい安心・安全な環境の整備に努めます。

■西部地域の開発・保全・整備方針チャート

開発・保全・整備

種類	種別	開発・保全・整備事業	整備時期		
			中期	長期	
開発	市街地開発事業	○高西丁卯新涯土地区画整理事業		○	
		○内陸工業団地		○	
保全	水系	○羽原川	○		
整備	道路等	○赤坂バイパス	○	○	
		○松永道路	○		
		○松永港本郷線	○		
		○山波南松永線		○	
		○駅前府中線	○		
		○今津高西線	○	○	
		○神島稲荷島線		○	
		○羽原川長和島線		○	
		○判屋線		○	
		○(港)山波松永線	○		
		施設等	○機織地区港湾施設整備	○	○
			○松永浄化センター	○	○
			○都市基幹公園整備	○	○
			○機織ポンプ場	○	



■ 土地利用凡例

	高密度な商業・業務系施設と都市型住宅などが共存した土地利用の誘導を図る地域
	商業・業務系施設と都市型住宅などが共存した土地利用の誘導を図る地域
	商業・サービスなどを補完しながら利便性の高い住宅地形成を図る地域
	良好な居住環境の住宅地形成を図る地域
	主として産業活動(工業・流通など)の利便性を図る地域
	産業活動を中心とした拠点形成を図る地域
	大規模既存集落
	主な公園
	主な緑地・風致地区
	市街化調整区域
	市街化区域
	都市計画区域域外
	河川・海

■ 拠点凡例

	都心地区
	地域拠点
	地区拠点
	産業拠点
	余暇活動拠点
	広域交通拠点

■ 道路・鉄道凡例

	山陽新幹線			
	在来鉄道(山陽本線)			
	高速道路(山陽自動車道)			
	整備済	暫定供用	未整備	構想
	主要幹線道路			
	幹線道路			
	補助幹線道路			

